

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		特定非営利活動法人SUNクラブひまわり 放課後等デイサービス事業所なかま	公表日 令和7年 3月 26日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	お子さんの人数に対しては適切だと思いますが、一人ひとりの体の大きさを考えると、大きく体を動かせる空間はありません。	大きく動きたい活動の際は、庭や近くの公園に行って行うようにしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8		基本人員にプラスで配置しています。1対1ないし1対2です。	人数は十分に配置されているのですが、不安を抱かせてしまう職員の様子等が見られましたら、申し訳ありません。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		すべての空間が構造化されているわけではありませんが、在籍中のお子さんに困らない程度の視覚的配慮や部屋を分けるなどの空間作りは行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日の朝夕の清掃は欠かせません。思春期のお子さんたちがくつろげるような空間作りを意識しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者の方には、できるだけ評価表を出していただけるようお願いしています。いただいたご意見も全職員に周知し、みんなで考えるようにしています。	職員にとって、保護者の方のご意見は大変貴重で、真摯に受け止めるべきことと考えています。まだ保護者の方の安心安全に至っていないところがあると思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		パート職員の意見をきける機会が少ないが、気づいたことを自ら報告してくださるので、そのことを全職員で共有するようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		8		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		流れとしては取り組んでいますが、ニーズや課題に対してまだ不十分だったり、ご期待に沿えていないことも感じています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		計画原案作成における担当者会議等、個別面談の後の伝達、報告等も設け、職員と共通理解を持つようにしています。最善の利益かと考えると、まだ沿えていないことも感じています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		会議等で確認したり、計画書を目の届くところに置き、職員自身が意識できるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		8		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		季節、学校行事との兼ね合い、子どもたちの状態、保護者のご意見等も意識して、工夫をさせていただいています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		年に1～2回は必ず行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	8		特に今年から意識して始めたところです。まだ支援内容については、不十分なところが多いので、これから充実させていければと思います。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		自分の意見が言いにくいお子さんたちでも、自分の意志や気持ちを言えるような雰囲気作りや、必ず確認することを行っています。毎日の活動や日常生活内でも。	一人ひとりに合った支援の工夫（文字や絵、口頭、ジェスチャーなど）、地道な意思確認を続けながら、お子さんたちが少しでも自分らしく生きていけるようつなげていきたいと考えています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		今年は医療とのつながりはありませんでしたが、学校の教育の先生方と連携させていただく機会がありました。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		引継ぎの取り組みは、毎日行っていますが、適切かとなると、バタバタしていたり、大事なところが引継ぎミスがあったりすることもあります。	先生方と信頼関係作りを継続しながら、お子さんに必要な情報、連絡調整を行っていきたいと思います。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		なかまは中高生のお子さんが利用されていますので、就学前に利用していた機関との連携はありませんが、学童期に利用していた機関との連携は、必要なお子さんのみ情報共有をさせていただいています（併行通所先など）。	継続しながら、できるだけお子さんの共通支援と保護者の方が混乱をきたさないよう努力したいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		すべてのお子さんではありませんが、相手の福祉サービス事業所、保護者、相談支援専門員さんからの依頼がある方は行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		時々助言をいただきました。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8	放課後児童クラブ等は12歳までのお子さん方が利用される場所なので、なかまの中高生のお子さんとの交流の場としては難しいと考えています。	地域の子どもさんとの活動がどのようにできていくか考えていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		児童発達支援管理責任者を中心に他の職員も出席するようにしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		できるだけその日のお子さんの状態は口頭や連絡帳、電話、メール等でお伝えするようにしていますが、まだ不十分であると感じています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	相談があった方のみには、情報提供をしていますが、研修等はできていません。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		面談で保護者のご意見を聞くようにしています。またお子さんにも個別面談等で意思を聞くようにしています。	事業所の思いだけでなく、保護者の思いや本人がどう感じているかも尊重しながら、支援に反映できるようにしたいと思います。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	3	今年は、事業所で保護者の交流をする機会が少なかつたです。 きょうだい同士の交流の場は、法人内で行っています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		今年は苦情等はありませんでした。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月の新聞発行、HP 1～2週に 1 回、毎月の行事予定表、都度メール等で情報発信をしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		毎日のことは連絡帳やお子さんによっては、口頭で情報伝達を行っています。思春期のお子さんたちなので、お子さんの気持ちや立場も考えて行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8	事業所に来ていただくことはできていませんが、長期休暇などを利用して、近くの公園や道路などのゴミ拾いを行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		ほぼ毎月訓練を行っています。前もって活動予定表に記載しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		薬とてんかん発作等の確認は細かくしています。予防接種の細かな把握はしていません。保護者や本人から伝達や報告がある方へのみの把握になります。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		8	現在食物アレルギーのあるお子さんがいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		引き渡し訓練等で、保護者の方に引き渡し者、連絡先を提出していただき、協力をいただいています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		毎日の会議等で上がった内容や職員で気づいた点を共有し、みんなで検討、もしくは周知するようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		毎年、法人内と事業所内でもするようにしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		やむを得ず身体拘束をすることが考えられるお子さんが数名おられるので、保護者に計画書に記載したもので確認を得るようにしています。	